

②農村計画学会 2016 年度秋期シンポジウム

大会実行委員会・学術交流委員会

1. テーマ 「ツーリズムと農村」

2. 期 日 2016 年 12 月 3 日（土）14:45～18:15

3. 会 場 北海道大学農学部 大講堂（4 階）
無料一般公開。市民の皆様の参加を歓迎いたします。

4. 趣 旨

現在、北海道における観光産業は、第一次産業の総生産額に匹敵するほどに拡大し、地域経済を支える基幹産業のひとつとなっている。この北海道観光の魅力のひとつに、自然と農業の織りなす景観がある。観光資源としての景観は、地域住民をはじめとする人々のこれまでのなりわい・営みによって創造されてきたものであるが、近年、人口減少、過疎高齢化をはじめとする社会の変容が顕在化してきており、将来ともこれまでどおりの営みが持続できるか、危惧される状況となっている。農村がおかれている環境のもとで、今後とも良好な観光資源の重要な柱の一つとして農業農村の景観を維持していくために、その将来展望や活用策などを考えていく必要がある。

一方、国民の意識変化や農村と都市の交流を促進する施策等により、単に風景を楽しむ旅行から、グリーン・ツーリズムやエコ・ツーリズムなどの目的を持った旅行が増加するなど、観光のスタイルも大きく変化している。加えて近年では、農村地域でも内需型観光からインバウンド増加を目指した方向も強く求められつつある。

本シンポジウムでは、変わりゆく旅行形態のもとでの観光資源としての農業農村のあり方、そこでの問題点を認識・整理し、観光資源としての今後の農業農村の可能性と課題を議論することとしたい。

5. プログラム

14:45～14:50	開会挨拶・趣旨説明
14:50～15:30	講演 1 木村 宏（北海道大学観光学高等研究センター） 「グリーン・ツーリズムの最近の動向」
15:30～16:10	講演 2 武田耕次（NPO北海道ツーリズム協会） 「グリーン・ツーリズムを中心とした地域づくり」
16:10～16:50	講演 3 加藤肇子（まちづくり観光デザインセンター） 「住民主体の観光メニューと地域活性化」
17:00～18:15	パネルディスカッション「これからの農村ツーリズムを考える」 パネラー 木村 宏（北海道大学観光学高等研究センター） 武田耕次（NPO 北海道ツーリズム協会） 加藤肇子（まちづくり観光デザインセンター） 大黒 宏（ノースプレインファーム（株）代表） 吉村俊子（北海道指導農業士協会会長） コーディネーター 上田裕文（北海道大学観光学高等研究センター）
18:15	閉会